

| | | | | | | | |
|-------|--------------------------|-----|-------|-------|------|-----|------------|
| 入学時期： | 4月生 | 学科： | 上級行政科 | コース： | 19ヶ月 | クラス | － |
| 科目名： | 地理・歴史(地理・日本史・世界史) | | | | | 年次： | 2年次 |
| 担当者： | 田縁 美穂 | 単位： | 5単位 | 授業時間： | 75時間 | | |

■授業概要・方法等

テキストを用いて講義形式で授業を行う。学生は単元終了ごとに各自で過去問題集に取り組み、その単元の問題を正しく解答できるようにする。また単元ごとに実施する小テスト（公務員試験と同形式）や誤答のやり直しのレポート、総合演習を通じて理解度を確認する。

■学習・教育目標及び到達目標

地理・歴史ともに、1年次に学習した内容を総復習し、より理解と知識を確実にする。とくに2年次では、東ヨーロッパ、西アジア地域の学習の際に、世界史で学習した中東戦争やイラン=イラク戦争、戦後の東欧諸国の内容を意識的に取り入れ、総合的に地理・歴史を理解する力を習得する。2年次の日本史では、学習した内容を政治史、文化史、外交史、教育史などの視点から整理し、総合問題に対応できる力を身につける。2年次の世界史では、戦後史や中国史、イスラム史、インド史などの学習内容を意識的に地理や日本史とも結びつけ、知識をより確実にする。

これらの学習を通じ、公務員試験大卒程度の地理・歴史の幅広い問題を正答できるようになる。

■成績評価方法および基準

| | |
|-----|---------------------------------|
| 地理 | 35%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート 50%） |
| 日本史 | 30%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート 50%） |
| 世界史 | 35%（小テストの総合点数 50%，やり直しレポート 50%） |

| | | | | |
|----|--------|-------|-------|------|
| 合否 | 合格 | | | 不合格 |
| 評価 | A | B | C | 不可 |
| 評点 | 100～80 | 79～70 | 69～60 | 59～0 |

■教科書

【地理】

- 『地理テーマ別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 各国・地域別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 過去問題集・解答解説』（本校独自）
- 『地理統計要覧 最新版』（二宮書店）

【日本史】

- 『上級日本史テキスト』（本校独自）
- 『上級日本史過去問題集・解答解説』（本校独自）
- 『上級日本史 本日の復習』（本校独自）

【世界史】

『上級世界史テキスト』（本校独自）

『上級世界史過去問題集・解答解説』（本校独自）

『上級世界史 本日の復習』（本校独自）

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【地理】

(4-7月 15時間)

| 時 数 | 内 容 |
|---------|------------------|
| 1 | ガイダンス, 気候の特色とグラフ |
| 2 | 気候の特色とグラフ, 植生と土壌 |
| 3 ~ 5 | ラテンアメリカの国々 |
| 6 ~ 7 | 東アジアの国々 |
| 8 ~ 10 | 東南アジア・南アジアの国々 |
| 11 ~ 13 | ヨーロッパの国々 |
| 14 ~ 15 | アフリカの国々 |

(8-10月 10時間)

| 時 数 | 内 容 |
|---------|-------------------------------|
| 16 | 世界と日本の水産業, 海流 |
| 17 | 世界の資源とエネルギー事情 |
| 18 ~ 20 | 西アジアの国々 |
| 21 | 北アメリカの国々 |
| 22 | オセアニア・CISの国々 |
| 23 | 世界の山脈・海峡・河川・砂漠のまとめ |
| 24 | 地形(扇状地, 三角州, リアス式海岸, フィヨルドなど) |
| 25 | 世界の人口, 都市問題, 民族・宗教・言語について |

時間割上の科目名:【日本史】

(4-7月 15時間)

| 時 数 | 内 容 |
|---------|--------------------------------------|
| 1 | ガイダンス, 江戸時代(幕府成立と統制策) |
| 2 ~ 3 | 江戸時代(初期の外交, 文治政治への転換, 元禄の治, 産業・経済など) |
| 4 ~ 5 | 江戸時代(正徳の治, 三大改革) |
| 6 ~ 7 | 江戸時代(列強の接近, 開国, 幕末の動乱) |
| 8 ~ 9 | 明治時代(新政府の政策) |
| 10 ~ 11 | 明治時代(自由民権運動, 外交と条約改正) |
| 12 | 明治時代(日清・日露戦争, 産業革命, 桂園時代) |

| | |
|----|------------------------------|
| 13 | 大正時代（第1次世界大戦，国際協調時代，戦後恐慌） |
| 14 | 昭和時代（金融恐慌，満州事変，日中戦争，第2次世界大戦） |
| 15 | 政党政治の変遷 |

(8-10月 10時間)

| 時 数 | 内 容 |
|---------|-----------------------------------|
| 16 | 戦後の日本（五大改革，朝鮮戦争，経済の動きなど） |
| 17 | 戦後の日本（歴代内閣と出来事など），日朝関係史，日露関係史，琉球史 |
| 18 | 白鳳時代～奈良時代（律令政治の成立と崩壊，文化，外交など） |
| 19 ~ 20 | 平安時代（律令政治の再建，摂関政治，院政，平氏政権，文化など） |
| 21 ~ 22 | 鎌倉時代（幕府の成立，執権政治の展開，元寇，文化，鎌倉新仏教など） |
| 23 ~ 24 | 室町時代（南北朝動乱，幕府の成立，日明貿易，土一揆，応仁の乱など） |
| 25 | 戦国時代，織豊政権（政策，外交，文化など） |

時間割上の科目名:【世界史】

(4-7月 15時間)

| 時 数 | 内 容 |
|---------|---------------------------------|
| 1 | ガイダンス，イギリスの産業革命と19世紀の自由主義 |
| 2 ~ 3 | 各国の帝国主義（イギリス，フランス，ドイツ，ロシア，アメリカ） |
| 4 | 第1次世界大戦と戦後処理，国際協調時代， |
| 5 | 世界恐慌と各国の対策 |
| 6 | ファシズムの台頭，第2次世界大戦の勃発と終結 |
| 7 ~ 8 | アメリカ史（独立戦争と19世紀の発展） |
| 9 ~ 10 | 戦後の社会（アジア各国の独立について） |
| 11 ~ 12 | 戦後の社会（冷戦構造の確立と，戦後の米ソの動き） |
| 13 ~ 14 | 中国史（清王朝の成立～辛亥革命） |
| 15 | 中国史（国民党と共産党との対立，戦後の中国社会） |

(8-10月 10時間)

| 時 数 | 内 容 |
|---------|----------------------------------|
| 16 ~ 18 | 中国史（古代～唐王朝） |
| 19 ~ 21 | 中国史（宋～明王朝） |
| 22 ~ 23 | フランス史（フランス革命，ナポレオンの帝政，ウィーン体制） |
| 24 | 19世紀の欧米諸国のまとめ，イスラム史（イスラム教の興りと発展） |
| 25 | インド史（仏教誕生，ムガル帝国の興亡，セポイの反乱，独立運動） |

■履修にあたっての注意事項

予習は必要ありません。復習をしっかり行い、授業の進行に合わせて過去問題に取り組み、ポイントを掴みましょう。

■その他